

**平成 29 年度 朝日町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(平成 28 年度分)**

平成 29 年 8 月

朝 日 町 教 育 委 員 会

目 次

I．朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について …………… 1

- 1．制度の概要及び目的…………… 1
- 2．点検及び評価の対象事業…………… 1
- 3．点検及び評価の方法…………… 1
- 4．学識経験者の知見の活用…………… 1

II．平成 28 年度教育委員会活動状況 …………… 2

- 1．教育委員の選任状況…………… 2
- 2．教育委員会会議開催状況…………… 2
- 3．教育委員学校訪問…………… 5
- 4．各種会議、大会、研修会等への参加…………… 6

III．外部評価委員の意見 …………… 8

- 1．総括…………… 8
- 2．教育委員会の活動について…………… 8
- 3．事務事業の点検・評価について…………… 8
- 4．今後の事務事業の企画運営にあたって…………… 10

IV．点検及び評価対象事業一覧 …………… 11

V．事務事業点検・評価調書 …………… 12

整理番号 1 ～ 38

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 20 年 4 月 1 日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成 28 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の対象事業

平成 28 年度に実施した朝日町教育委員会所管 38 事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は 100%となっています。また、本年度は第 2 次朝日町教育振興計画の策定に合わせて関連事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

4. 学識経験者の知見の活用

3 名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	前 山形大学大学院教育実践研究科 教授
熊 谷 昌 彦	有 識 者
長 岡 輝 美	有 識 者

Ⅱ．平成 28 年度 教育委員会活動状況

1．教育委員の選任状況

職	氏 名	住 所	備 考
教 育 長	小 林 道 和	朝日町大字四ノ沢 913 番地	
委 員	児 珠 孝 童	朝日町大字立木 183 番地	職務代理者
委 員	鈴 木 良 子	朝日町大字宮宿 1026 番地 6	H28. 9. 30 任期満了
委 員	五十嵐 義 一	朝日町大字玉ノ井乙 79 番地	
委 員	井 上 幸 弘	朝日町大字三中甲 650 番地 1	
委 員	村 山 千 鶴	朝日町大字宮宿 843 番地 4	H28. 10. 1 付新任

2．教育委員会会議開催状況

開催日		議案並びに主な報告・協議案件
平成 28 年 4 月 26 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 平成 28 年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③ 平成 28 年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④ 平成 28 年度朝日町教育研究所運営方針について
	附議	議第 7 号 平成 28 年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第 8 号 朝日町社会教育委員の委嘱について 議第 9 号 朝日町立中央公民館運営審議会委員兼朝日町立中部公民館 運営審議会委員、朝日町立西部公民館運営審議会委員及び 朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について 議第 10 号 朝日町スポーツ推進委員の委嘱について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 平成 28 年度朝日町教育委員会の重点及び朝日町学校教育の方針について 3. 教育委員研修会について 4. 平成 28 年朝日町教育委員会 5 月定例会の日程について 5. 総合教育会議の開催について
平成 28 年 5 月 26 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 28 年度補正予算 (6 月定例議会) の概要について ② 平成 28 年度西村山地区中学校駅伝競走大会結果について ③ 平成 28 年度朝日町小学校陸上競技記録会の結果について ④ 平成 28 年度分朝日町教育振興計画目標値達成状況について
	協議	1. 平成 28 年朝日町教育委員会 6 月定例会の日程について
平成 28 年 5 月 26 日 総合教育会議	協議	1. 第 2 次朝日町教育振興計画策定スケジュールについて 2. 朝日町の保小中連携推進について 3. コミュニティスクールの導入について 4. 意見交換

平成 28 年 6 月 24 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 28 年度 N R T 検査結果について ② 平成 28 年度西村山中学校総合体育大会結果について ③ 平成 28 年度朝日中学校 2 年生職場体験受け入れ状況について ④ 中学生海外派遣事業の中間報告について ⑤ 第 19 回朝日町立小中学校ひめさゆり俳句大会の実施について ⑥ 平成 28 年度 6 月までの教育委員会発注状況について ⑦ 町民プールの修繕工事と一般オープンについて ⑧ 国指定重要文化財佐竹家住宅駐車場用地取得について
	協議	1. 西村山市町教育委員会連絡協議会朝日町選出理事について 2. 平成 28 年朝日町教育委員会 7 月定例会の日程について
平成 28 年 7 月 20 日 臨時会	附議	議第 11 号 町立学校における県費負担教職員の懲戒処分の内申について
平成 28 年 7 月 22 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 平成 28 年度朝日町小学校水泳競技記録会の結果について ② 朝日町教育研究所夏季研修会について ③ 教育支援委員会について
	附議	議第 12 号 平成 29 年度使用教科用図書採択について
	協議	1. 平成 28 年朝日町教育委員会 8 月定例会の日程について
平成 28 年 8 月 25 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項 (日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① ジュニア駅伝、クロスカントリー大会の結果について ② 中学校総合体育大会 (県・東北・全国大会) のについて ③ 絵画寄贈について ④ 工事発注状況について
	附議	議第 13 号 平成 28 年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価 (平成 27 年度分) について
	協議	1. 平成 28 年度朝日町立小中学校運動会等への出席について 2. 平成 28 年朝日町教育委員会 9 月定例会の日程について
平成 28 年 9 月 27 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 28 年度全国学力・学習状況調査について ② 平成 28 年度第 58 回県こども絵画展及び第 71 回県総合美術展 (県美展) 入賞・入選について ③ 平成 28 年朝日町青少年健全育成町民大会・「あさひ教育の日」記念講演会について ④ 平成 28 年度西村山地区中学校新人総合体育大会成績について
	協議	1. 平成 29 年度朝日町実施計画 (教育委員会分) について 2. 平成 28 年朝日町教育委員会 10 月定例会の日程について

平成 28 年 9 月 27 日 総合教育会議	協議	1. 平成 28 年度全国学力・学習状況調査について 2. 平成 29 年度～平成 31 年度朝日町実施計画（教育委員会分）について
平成 28 年 10 月 28 日 定例会	附議	議第 14 号 平成 28 年朝日町教育委員会委員の議席の指定について
	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 平成 28 年度山形県中学校新人総合体育大会（県南ブロック）成績について ② 第 33 回アップル町民駅伝競走大会結果について ③ 「第 19 回ひめさゆり俳句大会」入選結果について ④ 第 52 回朝日町芸術文化祭について
	附議	議第 15 号 平成 28 年度朝日町要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第 16 号 朝日町小中学校教職員ストレスチェック制度実施要綱について
	協議	1. 平成 28 年朝日町教育委員会 11 月定例会の日程について
平成 28 年 11 月 25 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町 P T A 連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 第 63 回西村山地区駅伝競走大会の結果について ④ 第 37 回女性まつりの開催について ⑤ 「あさひ教育の日」川柳募集について ⑥ 山形県中学校新人総合体育大会（統一大会）成績について
	協議	1. 平成 28 年朝日町教育委員会 12 月定例会の日程について
平成 28 年 12 月 20 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町 P T A 連合会からの要望書（回答）について ② 平成 28 年度朝日町小学校スキー記録会について ③ 平成 29 年度教育委員会予算要求（案）について
	協議	1. 朝日町名誉町民故阿部宗一郎殿町葬について 2. 平成 29 年朝日町教育委員会 1 月定例会の日程について
平成 29 年 1 月 28 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 平成 28 年度生涯学習推進大会について ② 「あさひ教育の日」川柳の選考結果について ③ 第 2 次朝日町教育振興計画策定方針（案）について
	協議	1. 自治公民館建設事業補助金交付規程の改正について 2. 平成 29 年朝日町教育委員会 2 月定例会の日程について

平成 29 年 2 月 22 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 29 年度朝日町一般会計当初予算について ② 平成 28 年度朝日町体育協会表彰受賞者について ③ 平成 28 年度朝日町小学校スキー記録会結果について ④ 平成 28 年度子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者について
	附議	議第 1 号 朝日町宗生文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について 議第 2 号 朝日町宗生文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の規則の制定について
	協議	1. 朝日町自治公民館整備事業補助金交付規程(案)について 2. 朝日町立小中学校の平成 28 年度卒業式及び平成 29 年度入学式について 3. 平成 29 年朝日町教育委員会 3 月臨時会の日程について 4. 平成 29 年朝日町教育委員会 3 月定例会の日程について
平成 29 年 2 月 22 日 総合教育会議	協議	1. 平成 28 年度朝日町の教育の推進について 2. これからの朝日町の教育の推進と第 2 次朝日町教育振興計画の策定について
平成 29 年 3 月 9 日 臨時会	附議	議第 3 号 平成 29 年度朝日町立小・中学校教職員の人事異動内申について
平成 29 年 3 月 24 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 平成 29 年度学校教員の異動について ② 平成 28 年度朝日中学校卒業生進路先について ③ 平成 29 年度学級編成について ④ 中学生海外派遣事業募集要項について
	附議	議第 4 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第 5 号 平成 29 年度朝日町小中学校の校医等の委嘱について
	協議	1. 平成 29 年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 朝日町文化財等保存整備事業補助要綱について

3. 教育委員学校訪問

年 月 日	実 施 校	内 容
平成 28 年 6 月 9 日	朝日町立西五百川小学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
平成 28 年 6 月 15 日	朝日町立宮宿小学校	
平成 28 年 6 月 27 日	朝日町立朝日中学校	
平成 28 年 6 月 30 日	朝日町立大谷小学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会(24回)」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 28 年 4 月 1 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
平成 28 年 4 月 1 日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
平成 28 年 4 月 7 日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
平成 28 年 4 月 29 日	朝日町成人式	創遊館	全員
平成 28 年 5 月 6 日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
平成 28 年 5 月 17 日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	全員
平成 28 年 5 月 26 日	朝日町教育研究所全体会	創遊館	教育長
平成 28 年 6 月 4 日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	教育長 児珠委員
平成 28 年 6 月 21 日	保育園参観（保小中連携事業）	あさひ保育園	教育長
平成 28 年 6 月 24 日	緑の少年団結団式	宮小	教育長
平成 28 年 7 月 5 日	小学校水泳競技記録会	町民プール	全員
平成 28 年 7 月 12 日	西村山市町教育委員会連絡協議会	西川町	全員
平成 28 年 8 月 5 日 ～6 日	山形県市町村教育委員大会 朝日町教育委員研修	米沢市、置賜地内	全員
平成 28 年 8 月 9 日	町校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
平成 28 年 8 月 27 日	朝日中学校体育祭	朝日中	全員
平成 28 年 9 月 3 日	西小運動会	西小グラウンド	教育長 児珠委員
平成 28 年 9 月 4 日	宮小運動会	宮小グラウンド	教育長 鈴木委員
平成 28 年 9 月 10 日	大谷小運動会	大谷小グラウンド	教育長 五十嵐、井上委員
平成 28 年 10 月 7 日	村山管内僻地校公開研究会	西小	全員
平成 28 年 10 月 9 日	第 33 回アップル駅伝競走大会	町内	全員
平成 28 年 10 月 14 日	朝日町青少年育成町民大会兼 「あさひ教育の日」講演会	創遊館	全員
平成 28 年 10 月 29 日	朝日中学校文化祭	朝日中	全員
平成 28 年 11 月 3 日	朝日町芸術文化祭	創遊館外	教育長

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 28 年 11 月 4 日	朝日町自治功労者等表彰式	創遊館	全員
平成 28 年 11 月 25 日	朝日中学校創立 40 周年記念式典	朝日中学校	全員
平成 28 年 12 月 17 日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
平成 28 年 12 月 22 日	朝日中学校総合学習発表会	朝日中	教育長
平成 29 年 1 月 4 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
平成 29 年 2 月 1 日	小学校スキー記録会	自然観スキー場	全員
平成 29 年 2 月 6 日	町長学校訪問	西小	教育長
平成 29 年 2 月 8 日	町長学校訪問	大谷小、宮宿小 朝日中	教育長
平成 29 年 2 月 9 日	亦楽小学校訪問	七ヶ浜町	全員
平成 29 年 2 月 26 日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
平成 29 年 3 月 16 日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
平成 29 年 3 月 18 日	各小学校卒業式	各小学校	全員
平成 29 年 3 月 31 日	町退職者辞令交付式	開発センター	教育長

Ⅲ. 外部評価委員の意見

1. 総 括

いずれの事業についても、具体的な数値を示すなど詳細に記載されており、外部者にとって実施状況を把握することが容易で、全般的に分かりやすい報告書になっていることは、これまで同様に高く評価するものである。

特に今回、第2次朝日町教育振興計画の策定に合わせて関連事業を絞り、掘り下げた点検及び評価を行う旨の要請があった。このことは、長期計画と年度毎の評価を一体化し、町教育行政を一連の流れの中で捉えようとする教育委員会事務局の積極的姿勢の現れであり、評価事業のマンネリを打破し一歩踏み出した経営改善を図るうえでも極めて有意義なことといえる。

2. 教育委員会の活動について

総合教育会議が年間3回にわたって実施されたことで、首長と教育委員会の連携が一層強化されたことと思われる。5月・9月・2月の開催時期は、年間を通した経営サイクルを機能させるうえで適しており、回数面からも理想的な開催といえる。年度当初における計画の確認、年度中間期における進捗状況のチェック、年度末における評価という流れを維持するためにも、これからも年間最低3回は開催していくよう努めていただきたい。

3. 事務事業の点検・評価について

(1) 全体

概ね適切な評価がなされているが、さらに効果的な評価となるために、次の事項について再度検討していただきたい。

① 自己点検及び評価の結果（特に「事業の評価（成果と課題）」をみると、ア）実施状況についてそのまま述べている項目（「～を実施した。」「～を行った。」など）、イ）自己評価について述べている項目、ウ）課題について述べている項目の3つが混在していた。アについては、実施事実のみを述べるのであれば「事業の実施状況」に記載すべきである。イについては、「～を実施したことで所期のねらいをおおむね達成することができた」など、どのような成果が得られたのかまで記載することが望ましい。ウについては、今後の方向性につなげるためにも、より客観的な視点に立った要因分析を行うとともに、それに見合う表記となるよう工夫すれば、より主体性のある自己評価となり、結果、外部者にとってもわかりやすくなる。

② 教育委員会全体で様々な事務事業が工夫改善され、展開されている。これからも、町民や学校のニーズを把握しながら、より創造的で新たな事業が展開されることを期待するものである。

（２）学校教育関係

- ① 教育研究所について、「子育て生徒指導部会」など、朝日町の独自性が現れた取り組みが行われ、成果を上げていることについて高く評価したい。一般に、運営全般を教育研究所に委ねてしまい、教育委員会のビジョンが反映されにくくなっているようなケースも見受けられる。その点、朝日町教育委員会では「あさひ教育の日」との連動のもと、教育委員会のねらいに沿って推進しようという姿勢が窺われる。
- ② 保小中連携について、以前よりも保育園・小学校・中学校の連携が密になり、連携した活動が推進されている。今後、保育園・小学校・中学校、そして町全体で、どのような「あさひっ子」に育てていくべきなのか、また、どのような課題があるのかを共通理解しながら進めていくことが重要になってくる。
- ③ 学習生活指導員について、個別指導などきめ細かな指導の充実が図られたことは、極めて大きな成果といえよう。学習指導要領の改訂に伴い教育課程の多様化が求められる中、こうした施策がますます重要なものになってくると思われる。今後も配置が継続することでより高い成果が得られることが期待される。今後も、複式学級や個別支援が必要な児童生徒への対応に加え、発達障がいを抱える子どもの増加等もあり、必要性及び有効性が期待されるものである。
- ④ 読書活動推進員について、学習生活指導員の配置と同様に成果の拡大が期待される。心豊かな子どもを育てるために重要な事業と位置付けていく必要がある。

（３）生涯学習関係

- ① 協働のまちづくりプロジェクトについて、「New アクション事業」は、「自主的に活動する人材・団体の育成」という目的に合致したものであり、これからの地域づくりに向けて大いに期待できる事業である。本事業が継続するためにも、新規団体の掘り起こしを図るなど取り組みの深化が望まれる。

また、高校生や中学生の人材育成に関わる事業については、まちづくりに直結するような具体策を講じる必要があると思われる。

- ② 町立公民館事業について、地域の特性を生かし工夫した様々事業が展開されている。今後、マンネリ化しないよう、地域や参加者の要望を反映した事業の展開を期待する。

公民館職員だけでは運営が難しい講座等については、住民や参加者が運営に参加協力するような体制づくりが必要である。

4. 今後の事務事業の企画運営にあたって

- (1) 外国語活動推進事業費については、事業の名称を変更したことで、事業対象者がALTから小中学生に膨らんだことが示されるようになったといえるが、事業の実施内容についての記載が前年度とほぼ同様のものになっており、事業内容の拡大につながっていない。英語教育や国際理解教育等に関する事業の立ち上げなど、事業内容の幅の拡大を図っていただきたい。
- (2) 外国語指導助手の設置について、本事業により、保育園を含め、子どもたちが、国際理解を深め、英語に親しみ、英語力やコミュニケーション能力の向上が図られている。一方、本事業は、外国語指導助手の意欲や力によるところが大きいと考えられることから、今後も継続をしていくための処遇や体制の強化に力を注いでいく必要がある。
- (3) 中央・西部・北部公民館事業費については、三つの公民館とも地域性を生かした独自の取り組みがなされ、参加者の確保に向けて努力している様子が窺える。地区民のニーズに応える事業にするためにも、運営面でコミュニティ化を図るなど新たな取り組みが求められており、主事の方々からは今後の公民館のあり方について研修を深めるとともに事業の推進に当たっていただきたい。
- (4) 放課後子どもプラン事業について、事業の目的を推進するためには、教育委員会と健康福祉課の連携、指導員間の連携が重要で大切です。小学校とも一緒になって、連携の在り方について話し合いを進め、基本的な連携体制を整えてほしい。
- (5) 協働のまちづくりプロジェクト費については、事業の意味を再確認しながらも、継続を含め、様々な事業展開の方向性についても検討を進め、事業の有効性を確保していく必要がある。
特に、New アクション事業について、3年経過後の更なる継続を可能とした意義を大切にして、広く町民のための催しになりつつある活動や事業については、その内容を評価して、経過年数を限定しないなど、配慮の可能性を検討してほしい。
- (6) 保健体育総務費については、年齢層によってもスポーツへの関心が異なることから、幅広い層を対象とした意識調査を行うなどして、町民のニーズに応じた生涯スポーツ活動事業になっているか再検証してみることも必要ではないか。町民のニーズを新規事業の立ち上げや現行事業の見直し、施設設備の改善等につなげていくことで、より充実した施策の遂行が期待される。
- (7) スポーツ振興について、ミズノと連携した事業の展開は大変素晴らしい。教育委員会の事業では、親子を対象とした家庭教育学級への講師派遣が大変良かった。今後は、中高年層の増加に伴って、スポーツに限らない『健康な体づくり』の観点から、健康福祉課と連携した健康教室や講座等、みんなが気軽に参加し楽しみながら、健康な体づくりができる事業の推進が求められる。
- (8) 地域を挙げて開催される町のスポーツ大会等について、その歴史や背景等のふり返りを大事にしながらも、時代に合った評価や検討を加え、地域の実態や考えに即した事業づくりが必要となっている。
- (9) 体育施設について、生涯スポーツ振興のため町民ニーズに合った施設の充実が必要である。

Ⅳ. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理 番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	3
教育研究所費	教育文化課学校教育係	4
廃校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校管理費	教育文化課学校教育係	6
中学校管理費	教育文化課学校教育係	7
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	8
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	10
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	11
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
外国語活動推進事業	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
中学校スクールバス購入事業費	教育文化課学校教育係	19
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	20
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	21
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	22
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	23
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	24
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	25
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	26
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	27
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	28
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	29
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	30
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	31
協働のまちづくり推進プロジェクト	教育文化課生涯学習係	32
図書館費	教育文化課生涯学習係	33
文化振興費	教育文化課生涯学習係	34
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	35
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	36
スポーツ振興基金運営費	教育文化課生涯学習係	37
秋葉山利活用計画作成費	教育文化課北部公民館	38

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。 学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

・教育委員 5人 ・定例会教育委員会 12回開催、臨時会 2回開催、附議事件 14件 ・総合教育会議 3回開催 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（西川町）7/12 ・山形県市町村教育委員大会（米沢市）8/5 ・教育委員視察研修（米沢市）8/5～6 ・各校学校訪問 西小6/9、宮宿小6/15、大谷小6/11、朝日中7/7 ・七ヶ浜町立立亦楽小学校視察研修 2/9（英語活動について） ・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他）
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,424,000	決算額	1,247,279	差引額	176,721
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○先進地視察や他教育委員会との交流などにより、当面する様々な課題に関する情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、町の実情に即した課題を協議課題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。 ○総合教育会議を3回開催し、町長と教育委員会との情報共有を図ることができた。 ○教育研究所の事業と連携しながら学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。
--

6. 事業の方向性

・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会事務局費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第五次朝日町総合発展計画及び朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・教育事務事業点検・評価（外部評価委員3名） 評価委員会2回開催、10月一般公開
- ・第19回小中学生ひめさゆり俳句大会（456名、1,015句）
- ・平成29年度入学児童（対象者40人）を対象に就学時健診（10/5）を実施
内科健診、眼科、耳鼻科、歯科、聴力、視力、知能検査
- ・教育支援委員会を3回開催
- ・県費教職員健康診断（全員受診）
- ・生活キャンペーン・・・あさひ教育の日関連事業で実施（川柳募集：お題「つながり」）
- ・スクールガードリーダー1名を配置し、パトロールを実施。（年間45日）
- ・臨時職員（事務補助）を1名配置

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	5,968,000	決算額	4,988,817	差引額	979,183
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○朝日町教育振興計画が単なる計画にならないように、その実施計画の作成と目標値の管理を行っている。目標管理は数値目標を年度毎に定め、関係機関に対して公表しながら目標達成を促しており、毎年7月、12月に実施している児童・生徒のアンケート調査では年度目標値をおおむね達成している。

6. 事業の方向性

- ・目標値の管理は施策の大きな目安となることから、継続して行い関係機関に周知する。
- ・就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。
- ・いじめ防止対策の基本方針の策定を行ったので、条例化に向けて検討を行う。
- ・教職員の事務内容の把握等を行い、校務支援ソフト等の導入を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会奨学金貸与事業費
-------	---------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・お知らせ板による周知（3月）
- ・奨学金貸与申請者の審査会 6/17（新規貸与者8名）
- ・貸与者数 21人 H28 貸与額 8,520,000円
- ・返還者数 52人 H28 返還請求金額 7,649,000円
- ・滞納者数 3人 530,000円
- ・年度末基金残高 101,420,540円
うち 現金 22,235,790円
貸付金 79,184,750円
- ・奨学金システムの導入 993,600円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,059,000	決算額	1,041,114	差引額	17,886
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 貸与、返還業務については、ほぼ計画どおり処理できている。
- 返還請求に対して、返還金が滞りつつある貸与者が数名いるが、それ以外は返還計画を立て計画どおり返還できている。
- 奨学生の管理や貸与・返還事務については、事務処理が複雑になっており、職員作成のエクセル管理では難しくなっているが、奨学金システムを導入し効率的な管理ができるようになった。
- △滞納分納入に向けた取り組みが必要となっている。

6. 事業の方向性

- ・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。（月払い、半年附払い、年附払い）
- ・情報の管理については、引き続き、個人情報の漏えいなどが生じないよう十分なセキュリティ管理に留意していく。
- ・滞納が続く場合には、来庁依頼の通知及び自宅等への訪問を実施し返還請求を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

3. 事業の実施状況

- ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修
課題研究部会（郷土学習部会 18 人、特別支援研究部会 19 人、情報教育部会 17 人）を 2 回開催
校務研究部会（養護教諭部会 5 人・3 回開催、事務職員部会 5 人 4 回開催）
学力向上委員会 10 人 年 2 回開催
子育て生徒指導部会 22 人 年 2 回開催
英語活動推進部会 7 人 年 2 回開催
読書活動推進委員会 10 人 年 2 回開催
保小中連携推進部会 14 人 年 2 回開催
ICT 教育推進委員会 8 人 年 2 回開催
教育講演会 講師：花輪 敏男 氏「通常学級における特別支援教育」
町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/26 参加者 20 人（中・北部地区）
- ・朝日町教育委員会指定研究校 宮宿小学校 1 年次 負担金 10 万円
- ・NRT 検査、知能検査（4 月）、CRT 検査（1 月）、Q-U アンケートを公費負担で実施。
- ・教育研究所所報（第 19 号）を発刊（事業の経過を掲載）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,556,000	決算額	1,435,512	差引額	120,488
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値をもとにしながら指導改善に取り組むことができた。また、学社連携を担う子育て生徒指導部会も他市町にはない取り組みであり、今後も継続していくことが重要である。
- 学力向上委員会の中で、授業力の向上のために、教職員の研修、学校研究についての情報交換ができています。また、各校の取り組みについて情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。
- 他市町にはない子育て生徒指導部会では、『育てよう生きる力』～地域との関わりを広げよう～の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。「あさひ教育の日」の連携事業としての、「川柳募集」に対する応募も多く、周知の成果が表れている。
- ICT 教育の推進を図るために ICT 教育推進部会を立ち上げた。これにより各校で ICT 機器の活用が推進された。△喫緊の課題への対応のため部会の新設が行われ会議の回数が増えており改善の必要がある。

6. 事業の方向性

- ・学力向上委員会で各校の学力向上対策が話し合われ、学校研究等、授業改善についての研修・情報交換を行い、担任力の向上にむけて今後も取り組んでいく。（平成 29 年度は 2 回開催予定）
- ・学社連携を担う子育て生徒指導部会は他市町にはない取り組みであり今後も継続していく。また、「あさひ教育の日」の活動と連動させるため、テーマを見直す必要がある。
- ・平成 29 年度中に組織の改編を検討し効果的な研修になるようにしていく。（H29、会議回数や方法の見直しを実施）

事務事業点検・評価調書

5

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・廃校（旧立木小、旧水本小、旧上郷小、旧大沼分校）の管理
維持費として、電気料 1,260,785 円、水道料 78,230 円
- 【現在の使用状況】
- 旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用
年間を通して、4名の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用
- 旧水本小：校舎は使用なし
体育館及びグラウンドは、地域のレクリエーションや菜の花プロジェクト等で年数回程度利用
- 旧上郷小：校舎は使用なし
体育館及びグラウンドは、地域のレクリエーションや町内スポーツ団体に社会体育施設として開放
- 旧大沼分校：校舎の一部が大沼公民館として大沼区が利用
- ・旧立木小の地下燃料タンク廃止業務 240,840 円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,512,000	決算額	1,604,983	差引額	907,017
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。結果、利用に支障が生じていない。

6. 事業の方向性

- ・旧小学校施設の有効活用の方向性または適正な処分方法について、関係課と連携していく。
(これまで町有財産の担当部局と連携しながら「朝日町旧小学校校舎等利活用推進委員会」等の検討の場で、有効で適正な活用または処分の方針とその方法について検討を重ねてきた。加えて、業務を所管する適正な担当課についての話し合いも行ってきた。しかし、なかなか方針を定めるに至っていないのが現状である。)

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

・建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・光熱水費、通信運搬費について、月別状況を各校に配布し節電、節水等を指導 ・リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,024,000	決算額	17,558,409	差引額	2,465,591
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。

6. 事業の方向性

・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・節電、節水等を引き続き呼びかけ、今後も周知徹底を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施
- ・光熱水費、通信運搬費について月別状況を配布し、節電・節水を指導
- ・臨時職員（事務補助）を継続して1名配置

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,720,000	決算額	8,790,984	差引額	929,016
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 各種点検を実施し、適正な管理ができた。
- 光熱水費は、中学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等と呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。

6. 事業の方向性

- ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。
- ・節電、節水等の呼び掛けを今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・学校医5人、薬剤師2人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施
- ・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託
- ・学校での集団検診を実施
欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施
- ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施
- ・学校保健委員会の開催 西小6/15、宮小7/14、大谷小7/13

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	2,636,000	決算額	2,304,311	差引額	331,689
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団検診未受検者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の検診が終了できた。

6. 事業の方向性

- ・未受検者については、早期に検診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・学校医4人、薬剤師2人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施
- ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託
- ・学校での集団検診を実施
欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施
- ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施
- ・学校保健委員会の開催 7/8

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	1,374,000	決算額	1,279,289	差引額	94,711
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団検診未受検者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の検診が終了できた。

6. 事業の方向性

- ・未受検者については、早期に検診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

遠距離から通学している児童数 82 人 (28.3%) ・スクールバス運行による通学 (三中線：臨時職員 和合線・上郷線：業者委託) 立木・太郎地区 5 人 (冬期 2 人)、三中地区 10 人 (松程冬期下校 2 人)、上郷地区 10 人、和合地区 20 人、沢内地区 9 人 (立木、上郷、和合、大暮山の登校は中学校スクールバスを利用) ・タクシー運行による通学 (業者委託) 立木方面 (下校)、和合平 (登校) 1 人、沢内方面 (下校)、雪谷 (登下校) 2 人 大暮山 (下校) 2 人、沼ノ平 (冬期下校) 4 人、中沢 (冬期下校) 5 人 ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,510,000	決算額	8,111,723	差引額	1,398,277
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。 ○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。 ○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。 △近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ見直しを行う必要がある。 △平成 27 年度に冬期間下校のみの利用地区を設定したが、1 人や少人数での登下校についても見直しが必要である。
--

6. 事業の方向性

・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。 (平成 29 年 6 月から冬期間下校のみの利用地区を下校時の通年乗車に変更し、また、1 人で人家皆無の道路を通学する場合は登下校乗車できるよう変更した。)
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

- ・遠距離から通学している生徒 102 人 (57.6%)
- ・スクールバス 3 台運行
 松程線 臨時職員 (10 人、冬期は能中・川通 3 人)
 大沼線 臨時職員 (2 人) (下校時のみ 4 人、冬期下校のみ 13 人/登校時は小学生と同乗)
 立木線 臨時職員 (18 人、冬期下校のみ 3 人)
 上郷線 業者委託 (6 人) (小学生と同乗)
 和合線 (3 人) 業者委託 (小学生と同乗/下校は大沼線)
- ・スクールタクシー和合平線 (1 人、下校は大沼線)
- ・山交バス (北部地区 45 人、大隅 2 人冬期間のみ)
- ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。
- ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	19,896,000	決算額	16,961,568	差引額	2,934,432
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

- 家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。
- スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。
- 遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。
- 部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。
- △近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ見直しを行う必要がある。

6. 事業の方向性

- ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。
- ・臨時職員に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。
- ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。
- ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。
- ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

・修繕関係

西小、大谷小：ろ過装置修繕 449,280 円

宮小：液面制御器交換 183,600 円、受水槽バルブ交換 216,000 円、給食室給湯器修繕 223,236 円

大谷小：通学路防犯灯交換 112,320 円

・委託料

大谷小：暖房機清掃点検 213,840 円

・備品購入

西小：牛乳保管用冷蔵庫 378,000 円

大谷小：球根皮むき機 162,000 円

・大谷小屋内運動場天井改修工事 ※明許繰越費より支出

設計 1,134,000 円 工事 24,840,000 円 監理 1,242,000 円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,431,000	決算額	3,896,547	差引額	534,453
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。

△西五百川小学校校舎（S54）、宮宿小学校校舎（S55）は建築年が古く、老朽化が進み改修計画の策定が必要である。

△夏季における暑さ対策として、エアコン設置についてその有無を含め検討が必要である。

6. 事業の方向性

・引き続き安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。

・西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎の改修については、町の実施計画（3年間）に計上し、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。（空調、油管、水道、排水管等）

・当面の方向性としては、経費の抑制を考慮し、新築ではなく全面改修による施設の長寿命化を図っていく。
（西五百川小学校、宮宿小学校にはエアコンが1教室にもなかったため、H29年6月に図書室に設置した。）

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	授業等に支障をきたすことがないよう適切な施設の維持管理が図られ、安心して授業に取り組むことが出来る快適な学校教育環境を整備する。
-------	--

3. 事業の実施状況

・修繕関係 電気式液面計修繕 397,440 円 ステージ天井金物修繕 729,000 円 ・委託料 グラウンド簡易トイレ維持管理 154,440 円 ・工事関係 武道館屋根改修工事 4,968,000 円 ・備品購入 加湿器 14 台 241,920 円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	7,587,000	決算額	7,198,992	差引額	338,008
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。 △校舎、体育館は平成 22 年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和 51 年と古く設備面を中心に老朽化が進み改修計画の策定が必要である。 △武道館は水まわり、天井、屋根を改修したが、床の修繕が必要となっている。 △屋外部活の部室が目の届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。 △夏季における暑さ対策として、エアコン設置についてその有無を含め検討が必要である。
--

6. 事業の方向性

・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 ・老朽化している施設設備の劣化調査を行い改修計画を策定する。（平成 29 年度に劣化調査を実施予定） ・平成 29 年度に武道館の床改修を実施予定。 ・社会開放用のトイレ設置と、屋外部室の改築についても町の実施計画（3 年間）に計上し整備する。 なお、屋外部室の管理については、改修されるまでの間、教職員による定期的な見回り等を実施し安全を確保する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい児等、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・小学校3、児童数290人【21クラス（内特支4クラス）】
- ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、各校 280,000円を上限に補助。（西小278,936円、宮小280,000円、大谷小280,000円）
- ・小体連陸上（5/18）、水泳記録会（7/5）【参加児童92人】
- ・海の子山の子交流事業 西五百川小学校⇄七ヶ浜町立汐見小学校
- ・各校の教材備品、一般備品の購入1,962,675円
- ・芸術鑑賞事業補助250,000円
- ・準要保護対象者5人、特別支援教育就学奨励該当者6人
- ・学習生活指導員（西小1人・宮小3人・大谷小2人）と読書活動推進員1人を配置
- ・宗生文庫基金による図書購入503,263円、基金積立額17,000,000円（平成29年3月）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	32,314,000	決算額	31,692,701	差引額	621,299
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 学習生活指導員を西五百川小学校に1人、宮宿小学校に3人、大谷小学校に2人配置し、複式学級・特別支援学級も含めきめ細かな学習指導を行うことができた。
- 読書活動の推進を図るため、図書のデータ管理を全小学校で終了しており、今後はその管理と活用を適切に行うため朝日町子ども読書活動推進計画に沿った各種施策を着実に実施できた。
- 読書活動推進員を1名配置し、各小学校を巡回しながら学校図書館の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書館の利用及び図書の貸し出しが増えた。
- △各種障がいを持つ子どもへの対応を行う際に、保護者の理解や協力を得ていく必要がある。

6. 事業の方向性

- ・少子化による複式学級の設置の状況を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、きめ細かな学習指導を進めていく。
- ・一人ひとりの実態に応じたきめ細かな学習指導を進めるため、特に低学年への対応を重視していく。
- ・障がいを持つ児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の必要性について、保護者、学校、行政が情報を共有し、理解と協力を得られるべく努力していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい児等、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・朝日中学校 生徒数 177 人【9 クラス(内特支 3 クラス)】
- ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、上限額の 660,000 円を補助。
- ・教材備品及び一般備品の購入 1,038,563 円
- ・県大会・東北大会・全国大会派遣 616,000 円
- ・部活動補助 600,000 円
- ・準要保護対象者 10 人
- ・特別支援学級奨励対象者 5 人
- ・学習生活指導員 2 人と読書活動推進員 1 人を配置
- ・スクールカウンセラーを 2 人配置

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	11,994,000	決算額	11,016,222	差引額	977,778
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 学校から要望のあった各種備品等を年度当初に購入し、授業での活用により、生徒の学習意欲の向上が図られた。
- 学習生活指導員を 2 人配置し、きめ細かな学習指導を行うことができた。
- 県大会、東北大会、全国大会への派遣補助により、生徒の意欲向上と保護者等の負担軽減を図ることができた。
- 読書活動推進員を 1 名配置し、学校図書館の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書館の利用及び図書の貸し出しが増えた。
- △不登校や保健室登校といわれる子どもたちを一人でも減らしていかなければならない。

6. 事業の方向性

- ・引き続き学習生活指導員の配置をしていく。
- ・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。
- ・不登校等の子どもたちには県のスクールカウンセラー事業を活用して、一刻も早い学校生活への復帰を促していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	外国語活動推進事業
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・平成 23 年度から小学校学習指導要領が改訂、平成 24 年度から中学校指導要領が改訂され、理数系のほか語学が強化されることとなり、特に小学校 5・6 年は必修領域外国語活動となったことから、従来の J E T 利用の A L T では不安要素が大きく、町単独で外国語指導助手を招致している
- ・現在の外国語指導助手はアメリカの伝統行事による異文化体験を企画実施し、国際交流の進展にも寄与しており、平成 28 年度から実施している中学生の海外派遣事業についても中心となり事業準備を行っている

【実施事業】

アメリカン BBQ 7/9（小学生 16 名参加）
ハロウィン 10/23（小学生 63 名参加）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,542,000	決算額	5,294,809	差引額	247,191
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○A L T（外国語指導助手）として来日以来 13 年間の実績を活用し、適切な指導ができています。
○子どもたちにも人気があり日本の風土にもなじんでおり、小学生を対象とした国際交流事業に参加する子どもの人数も増えている。
△契約は平成 28 年 3 月までとなっていたが、本人の意向も確認し契約を更新した。期間は平成 31 年 3 月までとなっており、将来的に安定した雇用に向けて検討する必要がある。

6. 事業の方向性

- ・今後も継続して、現在の外国語指導助手を雇用するとともに、英語の教科化に向けて新たな外国語指導助手の雇用を検討するなど外国語活動や英語教育の充実を図っていく。
- ・国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を強化していく。
- ・契約期間が平成 31 年 3 月までとなっているので、今後の安定的な雇用のため契約内容などの検討を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等 ・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日 給食の食材は保護者負担 1 食 280 円 ・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類 ・献立作成会議 4 ヶ月に 1 回開催 ・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催(調理師全員参加) ・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供 ・食物アレルギー対策として、個別に対応した給食を提供(西小 1 名、宮小 2 名、大谷小 2 名)(除去・代替えによる対応)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5, 863, 000	決算額	4, 948, 085	差引額	914, 915
-----	-------------	-----	-------------	-----	----------

5. 事業の評価(成果と課題)

○1 件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供することができた。 △行財政改革では学校給食の民間委託の方針が打ち出されたが、十分な準備と協議が必要である。 △食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。
--

6. 事業の方向性

・民間委託の導入についても検討するが、当面は直営での給食を行っていく。 ・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

・(有)地球耕望に副食給食を委託 11,880,000 円 (複数年契約) ・給食の食材は保護者負担 食材 1 食 210 円 ・食物アレルギー対策としては、除去による個別に対応した給食を提供
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	11,908,000	決算額	11,891,367	差引額	16,633
-----	------------	-----	------------	-----	--------

5. 事業の評価 (成果と課題)

○1 件の事故もなく、バランスのとれた副食給食を提供することができた。 △食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。
--

6. 事業の方向性

・学校給食の提供にあたり、給食センター方式や自校給食又は業務委託があるが、当面は業務委託による副食給食方式を継続し、委託先の状況に応じて他の方式にも切り替えられるよう柔軟に対応していく。 ・食物アレルギー対策として、小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス購入事業費
-------	----------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

・ひめさゆり2号（立木方面）の更新 車両価格 4,104,000 円 他、手数料、公課費、保険料、消耗品
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,498,000	決算額	4,358,101	差引額	139,899
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○老朽化したスクールバスを更新したことにより、安全で快適な通学ができるようになった。
--

6. 事業の方向性

・年次計画によりスクールバスを更新していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

・社会教育委員 7 名（男 5 名、女 2 名） ・社会教育委員会の開催（第 1 回 6/10、第 2 回 3/14） 朝日町社会教育の課題 （1）女性の社会参画の在り方（2）子ども・若者の地域活動参画の在り方（3）社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り（4）文化財の保護と活用（5）社会教育、社会体育施設の老朽化 課題に対応するための重点取り組み （1）人材育成事業の推進（2）地域社会による子育て、社会教育の推進（3）芸術文化活動の育成支援（4）名勝「大沼の浮島」、旧三小分校の保存整備計画の策定及び歴史や文化財に関する啓発活動等（5）スポーツを通じた人材育成 （6）交遊館遊具施設改修及び町民プール（アップルプール）の改修 ・山形県社会教育研究大会 10/6 3 名参加（尾花沢市） ・社会教育機関負担金支出（社教連、県社教大会、山響） ・社会教育団体活動補助金支出(子ども会連絡協議会 199,000 円)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	569,000	決算額	443,900	差引額	125,100
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○社会教育委員会の開催は計画に沿って開催することができた。 △社会教育委員会は、事業計画及び実施状況の確認等、適正に助言しているが、時代の変化に合わせて社会教育に対する課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。
--

6. 事業の方向性

・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町社会教育に反映させる。 ・社会教育委員会の中で、テーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・委員 4名(5名以内)
- ・会議 (9/29、3/15)
- ・文化財保護委員文化財訪問調査
- ・指定文化財保護事業費補助金
 - 佐竹家住宅管理費補助 174,000 円
 - 水口十一面観音堂管理費補助 200,000 円
 - 大沼の浮島整備補助（案内看板設置工事、栈橋塗装工事、標柱設置工事、烏鵲橋案内看板設置工事、枯損木伐採、浮島移動調査、水中動物調査、保存整備委員会等国庫補助事業） 2,618,000 円
 - 角田流獅子踊（大谷・ハツ沼）伝承補助 100,000 円
 - 豊龍神社の大スギ 128,000 円
- ・旧三申分校施設管理委託（ハツ沼区） 100,000 円
- ・佐竹家住宅駐車場整備 780,840 円
- ・文化財等保護調査（ハッチョウトンボ）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,889,000	決算額	4,417,416	差引額	471,584
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 大沼の浮島整備については、国庫補助事業を活用し整備、調査を進めている。町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。
- △大沼の浮島については、水量減少、水質低下、ナラ枯れ等が発生しており対策が必要である。
- △文化財マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を推進し、地域の宝を守り伝えていく心を醸成していく必要がある。

6. 事業の方向性

- ・大沼浮島保存整備委員会を設置し、水量の減少等の原因を究明するとともに、問題を解決するため、保存整備計画を策定し、国庫補助等により整備を促進する。
- ・旧三申分校については、基礎調査や保存整備委員会を行い、保存整備、活用について、計画書を策定し、県単補助等により整備を促進する。
- ・地域の宝を守り伝えていく心を醸成していくために、マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を今後も推進し、公民館連絡協議会や区長会等において、周知を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

- ・町史編さん専門員2人を配置
- ・町史関係資料収集
- ・町史及び町史資料頒布
- ・文化財保護、民具の利活用等 「冬の民具展」「初夏の農工具と雨具」創遊館フォーラムにて実施
- ・朝日町郷土史研究会
- ・ふるさと歴史教室「古文書講座」の実施 6回 (受講者17名)

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	2,813,000	決算額	2,563,900	差引額	249,100
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

- 町史編さん専門員2名の配置により、町史関係資料の収集ができた。
- 古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料を頒布し、広く町民に伝えることにつながっている。
- △町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。

6. 事業の方向性

- ・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。
- ・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査の体制を整備する。
- ・古文書講座は、様々な対象を想定し開催時期や時間など工夫しながら実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・青少年育成町民会議(委員 22 名)
総会 8/10
青少年育成町民大会 10/14 300 名 (あさひ教育の日との連携事業)
I 部 記念発表:『異文化との交流や体験から感じたこと
～朝日町中学生海外派遣事業を通して～』
発表者:朝日町海外派遣生(朝日中第3学年6名)
II 部 記念講演:『メディアにむしばまれる子どもたち～小児科医からのメッセージ～
笑顔のない・大人になれない子どもたち 』
講 師:国立病院機構仙台医療センター小児科 田 澤 雄 作 氏
- ・青少年育成推進員活動(委員 7 名) 会議、青少年事業への活動補助
- ・青少年指導センター(委員 21 名) 街頭指導 5 回、研修会、会議

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	360,000	決算額	199,368	差引額	160,632
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○青少年の健全育成を推進する団体が協力し合い、青少年育成町民大会を開催し、町民に青少年の健全育成についての共通目標を周知し、現在の子どもの抱える問題や解決策についての役割等について確認できた。

△街頭指導では、特に目立った事項は見当たらなかったが、単純な目に見える非行への対応から、いじめの対応や「生きる力」を育む対応へ変わってきており、地域全体で見守っていく必要がある。

6. 事業の方向性

- ・課題・問題の変化に対応するため「青少年育成町民会議」の在り方や「青少年育成町民大会」の開催内容について見直しを実施する。
- ・あさひ教育の日推進事業など学社連携により、問題へ対応していく。
- ・街頭指導について、青少年指導センターが見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等を継続行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・新築工事補助金 1件 栄町公民館事業費 24,079,680 円 補助金 16,855,000 円 (70%以内)
- ・改修工事補助金 1件 真中公民館 事業費 2,314,332 円 補助金 694,000 円 (30%以内)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	17,549,000	決算額	17,549,000	差引額	0
-----	------------	-----	------------	-----	---

5. 事業の評価（成果と課題）

○自治公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。
 △昭和に建築された自治公民館が多く老朽化に伴い改修や改築等が必要な公民館が多くなってきていると共に、各集落とも高齢者が増加しており、安全で安心して利用できる公民館が望まれている。

6. 事業の方向性

- ・「高齢者・障がい者にやさしい避難所の環境整備事業」と連携し推進する。
- ・各地区からの要望をできるだけ早い段階で受け止め、協議や具体的な支援の確保に向けて早めに動きだせる体制をつくる
- ・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的に支援を行ないつつ、問題や課題を把握する。
- ・自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行う。(H29年4月1日改正)

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・中央兼中部公民館運営審議会 6/9、3/14
- ・家庭教育
 - 中央公民館事業…やまがた子育て講座（6/11 宮小 50 名、7/20 西小 50 名、7/21 大谷小 70 名）
 - あさひ家庭教育学級（対象：あさひ保育園ほか 4 回 親子 443 組）
- ・青少年教育
 - 中央公民館事業…わくわく体験教室、成人式：4/29 参加者 56 名（対象 69 名）
 - ボランティア育成（中学生…きらり、高校生…JOKER：ふれあい育児体験、ふれあい荘夏祭等）
 - 中部公民館事業…子ども会育成事業（第 24 回綱引き大会 3/20 274 名）
 - 中部キッズクラブ（2/4「冬のおたのしみ！雪でうんとあそばなきゃ！」神風船祭りに参加）インフルエンザの為に中止
- ・女性教育
 - 中央公民館事業…女性文化教室 11 教室 9 回 参加者 180 名、女性まつり 12/3～4 180 名
- ・成人教育
 - 中央公民館事業…朝日町ふるさと歴史教室「古文書講座」（6 回）受講者 17 名、朝日町子ども会育成会研修会 3/5 第 29 回生涯学習推進大会 2/26 300 名
- ・自治公民館
 - 中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修（川西町）11/9 参加者 39 名
 - 公民館報発行奨励金交付事業 17 館、自治公民館研修会等共催支援事業 3 館
 - 中部公民館事業…自治公民館長・主事研修（和合地域交流センター） 7/1 40 名
- ・高齢者教育
 - 中央公民館事業…高齢者大学代表者会議 2/27
 - 中部公民館事業…寿大学（講話等 3 回、社会見学 1 回 351 名）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	2,388,000	決算額	1,805,098	差引額	136,952
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 町民ニーズに合った事業展開を行うことができた。
- △固定された参加者が多くなり、新たな参加者を増やしていく必要がある。
- △今後も公民館職員だけでなく、住民参画の企画・運営を進めていく必要がある。

6. 事業の方向性

- ・町民ニーズの把握に努め反映を図りつつ、スクラップ&ビルドにより事業の見直しを検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (5/30、3/27)
- ・家庭教育…あさひ家庭教育学級 第3回 10/1 (町内一括開催) 親子スポーツ教室
- ・青少年教育…いもがわ少年教室 4回 44人、子ども会交流事業 2回 156人、青年教室 2回 57人、楽笑楽生こうざ (女性) 5回 75人
- ・成年教育…成人講座「陶芸教室」 2回 24人、チャリティーグラウンドゴルフ大会 10/22 参加者 66人、自治公民館長主事研修会 6/19 34人、第23回西部地区スポーツフェスティバル 8/21 603人参加 (ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げ)
- ・高齢者教育…高齢者教室 (高砂大学) 4回 88人
- ・第52回町芸術文化祭展示発表会 11/2～3 約250人 (来場者)
- ・「西部公民館だより」発行 5回 (5/1、7/15、9/1、10/1、1/1)
- ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	578,000	決算額	398,424	差引額	179,576
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

○女性対象の楽笑楽生こうざは、長年継続して実施している事業もあり、参加者から好評を得ている。また、子ども会交流事業と合わせて宿泊体験を実施しているが、普段できない体験ができるため、参加者や父兄、西五百川小学校から好評を得ている。

△青年教室 (フットサル交流会) や高齢者教室 (高砂大学) は参加者から好評を得ているが、参加者が減少している。

△町民ニーズに応える事業を実施しようとするが、町民の関心が多岐にわたり、応えることが難しい。

6. 事業の方向性

- ・事業の周知方法・回数等を見直し、新規参加者を増やす。(H29、組回覧を実施した)
- ・町民ニーズの把握に努め、事業内容や開催方法の見直しを行う。
- ・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、地区民の交流を促進する機会となっており、継続開催していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会 (5/23,3/9)
- ・家庭教育 …あさひ家庭教育学級 中央公民館で一括実施
- ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員 21 人 達人倶楽部 21 人
(山菜採り、流しそうめん、カヌー、登山、そば打ち、夏・冬キャンプ等 10 回)
延べ隊員 118 人 述べ達人倶楽部 93 人 参加
…子ども会育成会事業 「交通安全教室」 21 人 「ニュースポーツ教室」 16 人
- ・高齢者教育…睦大学 4 回 100 人 延べ 303 人
- ・成人教育 …自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会 1 回 26 人
…第 12 回北部地区レクリエーション大会 9/12 (グラウンドゴルフ、ソフトボール、ビーチボールバレー、輪投げ) 500 人
…そば打ち教室 2 回 11 人 述べ 15 人
…いきいき元気すっきり体操教室 3 回 18 人 述べ 54 人
- ・女性教室 …布ぞうり教室 2 回 12 人 延べ 24 人
- ・第 52 回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表 300 人(来場者含む)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	456,000	決算額	322,769	差引額	133,231
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 青少年の事業として行っている「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小より好評を得ている。また、地域の大人の方々に組織する「ドキドキ探検隊 達人倶楽部」より企画、運営をしていただいております、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組になっている。
- 成人対象の事業を 2 事業増とし、新たな学びとなり参加者から好評であった。
- 高齢者の事業として、「睦大学」を行っており、向学心や探究心も衰えず、会員同士の交流にもつながっている。
- △睦大学について 65 歳以上を対象としているが、その中の若い年代の方の参加割合が少なく課題となっている。

6. 事業の方向性

- ・事業の内容を見直ししながら、婦人層、青年層の事業、更に世代間交流を充実し、事業参加者数の増加と、祖の年代の学びの機会提供につなげていく。
- ・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。
- ・成年層の事業を各種行いながら、60 代の学びと社会参加の場を確保にもつなげていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

・管理、各種設備、機器等の委託

夜間休日管理（シルバー人材センター）2,311,760 円、清掃業務（㈱山形ビルサービス）2,953,638 円、エレベーター点検（アクア㈱）61,560 円、空調設備（弘栄設備工業㈱）1,620,000 円、ホール管理（ADAPT 今井信一）1,434,000 円、自動ドア（ナブコシステム㈱）83,808 円、舞台装置（カヤバシステムマシナリー㈱）486,000 円ほか

・修繕

合併処理浄化槽放流ポンプ交換 112,320 円、エアコン室外機高圧ホース交換 464,400 円、高圧コンデンサー更新 853,200 円、町立公民館トイレウォシュレット設置 1,235,304 円（創遊館、西部・北部公民館）

・芝生広場の管理ほか

・創遊館の貸出 H28 年度 利用団体 1,611 件 利用人数 27,646 人（H27 年度 利用団体 1,883 件、利用人数 27,478 人）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	23,184,000	決算額	21,327,780	差引額	1,856,220
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

○創遊館の建設から 15 年を経過し、各機器等の不具合が出てきているため、修繕の緊急性の高いものから整備している。
△電子機器の経年劣化による不具合が生じ始めており、計画的な交換が必要となっている。
△年数の経過と共に供給を受けられない部品や機械が出始めている。

6. 事業の方向性

・専門業者による点検を実施。結果をもとに補修・修繕の優先順位付けを行い、中長期修繕計画の策定を進める。
(H29、劣化診断を実施)

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

- ・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成7年11月完成）の5施設の管理
- ・屋内施設：随時の清掃、維持
- ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや芝刈り、草刈りなどを、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。また、コースの設定管理についても協力して頂いている。
- ・年間利用者：H28年度 西部公民館 2,637人、健康増進センター 3,612人、西部地区総合運動場 1,977人、熊ノ山農村公園 6,129人、計 14,355人
(H27年度 西部公民館 2,818人、健康増進センター 3,878人、西部地区総合運動場 1,935人、熊ノ山農村公園 5,604人、計 14,235人)
- ・健康増進センター屋根塗装工事 3,898,800円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	7,070,000	決算額	6,528,407	差引額	541,593
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。
△施設の老朽化とともに、不具合が生じている。また、予定外の修繕も発生するため、対応に苦慮している。

6. 事業の方向性

- ・施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

- ・秋葉山交遊館・芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成）
- ・屋内施設：随時の清掃、維持
- ・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理。雪囲い等は、シルバー人材センター等に委託（297,150円）。
- ・利用者数：H28年度 交遊館 6,046人、体験館 203人、多目的広場 1,804人、北部体育館 1,481人、秋葉山グラウンド 1,417人、合計 10,951人
(H27年度 交遊館 4,761人、体験館 486人、多目的広場 2,403人、北部体育館 1,793人、秋葉山グラウンド 1,566人、合計 11,009人)
- ・秋葉山交遊館遊具更新工事 設計委託 432,000円 更新工事 4,411,800円
- ・秋葉山交遊館周辺案内サイン板面改修 892,080円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,195,000	決算額	9,018,326	差引額	1,176,674
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。
- 木製遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子供達が利用している。
- 多目的広場では、地区民のグラウンド・ゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。
- △施設完成から20年を超え、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。

6. 事業の方向性

- ・施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持できるよう今後も務める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

・放課後子ども教室推進事業の実施

コーディネーター1名配置

きらきらスクール（宮 小） 124 日、延べ3,106 名 放課後サポーター 23 名

のびのびスクール（西 小） 94 日、延べ5,001 名 放課後サポーター 14 名

どきどきスクール（大谷小） 133 日、延べ1,101 名 放課後サポーター 26 名

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,350,000	決算額	1,292,653	差引額	57,347
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

○今年度から町内の3つの小学校で年間を通して開設。サポーターの方による放課後の安全な居場所づくりが図られ、土台ができたことにより、学校との連絡調整を密にしたスムーズな運営体制、子どもの安全な見守り体制づくりができた。
△コーディネーターによるサポーターの調整や業務や負担が増える傾向にある。

6. 事業の方向性

・コーディネーターを中心に、新たなサポーターの確保と共に、サポーター同士のつながりを強める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	協働のまちづくり推進プロジェクト
-------	------------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ◆「New アクション事業」の実施（H28に要綱等の改正を実施） 応募団体 5 団体
- 【チャレンジ創生資金】
- ・朝日町有志会 代表 今井一彦氏（26名）3年目 補助金 400,000 円
不要になったりんごの木を薪やチップにし再利用する
 - ・霹靂祭 代表 小林純恵氏（5名）2年目 補助金 400,000 円
音楽フェスティバル開催に伴い地域の賑わいの創出
 - ・星の会 代表 成原千枝氏（9名）2年目 補助金 400,000 円
古民家で民話による地域おこしを行ない、交流人口の拡大につなげる
- 【アクション継続資金】
- ・朝日グラウンドワーク研究会 代表 佐藤欣治氏（18名）6年目 補助金 334,000 円
冬場の賑わいの創出・神風船まつり（2月）の開催、視察研修等
 - ・朝日町ボランティアの会 代表 鈴木貞夫氏（64名） 補助金 344,867 円
東日本大震災被災地復興支援（宮城県七ヶ浜町）、福島県被災者親子の心のケア支援、町内小学校通学路の除排雪ボランティア、高齢者施設の草刈り等
- ◆「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」へ高校生を派遣
7/25～8/7 14日間 1名（男子1名）受講 参加費補助 補助金 150,000 円×1名
（中高生ボランティアサークルのメンバーに報告会を実施）
- ◆中学生海外派遣研修事業 7/28～8/4（8日間）朝日中3学年6名 アメリカコロラド州ウィンザー市
アイジー基金を活用した事業 事業総額 3,290,490 円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	5,548,000	決算額	5,426,957	差引額	121,043
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- どのグループも町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの学習、活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。
- 中学生海外派遣研修事業を実施。2年目に向け内容の充実を図る必要があるが、初年度としては良好な事業ができた。
- △本事業は、3年まで継続事業についての支援としており、3年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付加しさらなる継続を可能とした。今後も支援団体の状況を見ながら、単なる事業補助ではなく人材育成という本来の目的を重視する「New アクション事業」として実施していく必要がある。
- △「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」に参加した1名の学びを高校生や次世代全体へ広げるような場を設けていく必要がある。

6. 事業の方向性

- ・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、呼びかけや効果的なPRを行う。
- ・海外派遣研修事業は、ウィンザー市との連携の強化を図る。（H29.7/27～8/3、6名派遣）
- ・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」へ高校生を派遣するとともに、結果を広く中学生や高校生に伝えられる場づくりを検討する。（H29、町民ワークショップに2名参加）

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・町立図書館管理運営 臨時職員 4 名配置
- ・利用登録者 3,655 名、うち町外 511 名
- ・1 日平均貸出約 50 冊、1 日平均利用者数約 17 名
- ・図書資料収集…(蔵書数 41,501 冊/H28 末)
- ・蔵書点検 11/17～22
- ・移動図書事業 5 月～2 月 大谷小 (18 回 月 1 回) 利用児童数 73 名
- ・団体貸出 2 団体 りんごっこクラブ(年 10 回)、あさひ保育園 (年 10 回)
- ・ブックスタート事業(年 6 回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ
- ・おはなし会事業 5 月～3 月(毎月第 2 土曜) 8 回 おはなし会「ぶなの実」と共催
- ・10/7 夜の図書館、～今宵は音と語りに魅せられて～ 30 名 ヴァイオリンとピアノの音色にのせて朗読会
- ・12/10 クリスマス子どものつどい 49 名、12/4 古本プレゼント 289 冊
- ・ブックテーマコーナー開設(毎月) 月毎に本の紹介、子育て支援コーナー開設

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,677,000	決算額	6,273,637	差引額	403,363
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

- 図書館の利用者数を増やしていくため、毎月ブックテーマの設定、おはなし会等を実施することができた。
- 幼児期から本に親しんでもらうためのブックスタートでの絵本の贈呈等の活動を実施することができた。
- 移動図書事業により、子どもの図書に親しまれる機会が充実することができた。
- △図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。

6. 事業の方向性

- ・図書館の利用促進のため、新刊の選本の吟味と夏休み等の子ども達の図書館利用に工夫を凝らしていく。
- ・上部組織と連携した職員の研修会に参加し、資質の向上を図る。
- ・学校の図書室や読書活動推進員との情報交換等連携を図り、移動図書事業等をより充実していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

- ・第52回芸術文化祭
町芸術文化協議会支援（32団体、2個人）
11/2～3 第52回芸術文化祭
11/3 移動芸能発表（杉山公民館）
- ・「美の探訪」11/7 宮城県七ヶ浜町芸術文化祭鑑賞、宮城県美術館 14名
- ・創遊館展示（ギャラリー）
あとリエマサトと図工の時間成果展（4/12～5/31）、芸文祭展示（11/1～15）、女性まつり作品展示（12/5～6）、
田中望絵画展（2/4～19）、牧野広大・井上歩美「2人展」（2/21～3/20）
- ・図工の時間 8教室（37回、延べ114人）5講座（各1回、延べ132人）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	2,074,000	決算額	1,860,003	差引額	213,997
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○創遊館ギャラリー展示について、芸術家との協同による新たな取り組みとして2回の展示ができた。
 △構成メンバーの高齢化や減少に伴い、芸術文化祭の展示品や準備者の確保が年々難しくなっている
 △ギャラリーの活用がなかなか進まないが、今ある体制では難しい実情がある。
 △ホール事業の運営については、単年度での運営が難しいため「チケット販売、アーティストの依頼時期、ニーズ把握」等を町民参画で検討する必要がある。

6. 事業の方向性

- ・芸術文化協議会をはじめ関係者との検討を深め、新たな体制や運営を考える
- ・ギャラリー運営について、芸術家との共働による展示活動の効果と課題を研究し、実施の方向性を探る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

- ・スポーツ推進委員の設置（委員 9 名）
- ・町民登山、町民グラウンドゴルフ大会など町体育協会主催の各種大会への支援
（体育協会加盟団体 15 団体 会員数 568 名）
- ・第 33 回アップル町民駅伝競走大会の開催
11 チーム参加、大谷風チームが優勝
- ・県縦断駅伝ほか蔵王坊平 J r 駅伝競走大会・クロスカントリー大会、西村山地区駅伝競走大会への支援、
モンテディオ応援バス借上げ補助 25,000 円
- ・朝日町総合型スポーツクラブ ①運営事業への支援（7 教室 会員数 115 名）②ミズノ講師派遣
- ・朝日町スポーツ少年団への支援（10 団体 団員数 137 名）
- ・各種スポーツ大会開催等の情報提供

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	2,430,000	決算額	2,229,445	差引額	200,555
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 町民が生涯スポーツ活動に取り組める環境を整えるため、スポーツ推進委員を配置し体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援を行い、町民一人 1 スポーツ、生涯スポーツの町づくりに取り組むことができた。
- △町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。

6. 事業の方向性

- ・従来の生涯スポーツの推進に加え、「健康づくり」をテーマとした親しみやすい事業を検討する。
- ・町民が気軽にスポーツに取り組めるよう、既存施設を活用しながら用具等の整備を中心に進め、必要な施設や環境の整備を行なう。
- ・ミズノとの連携事業は、町全体では「健康フェスティバル」を実施、また様々な係が独自の活用を検討しながら、それぞれ進めている。教育委員会では、総合型スポーツクラブの Jr. マラソンクラブコーチ（月 1 回）と家庭教育学級の「親子スポーツ教室」への講師派遣という形で活用しながら今後も多様な連携や活用を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

・町民体育館の管理委託（朝日町シルバー人材センター）1,887,336 円 一般利用人数： 9,862 人（H27 7,448 人）、他中体連、新人戦強化練習にて使用 ・緑が丘公園町民プール（東京美装興業㈱）3,682,800 円 利用数 2,753 人 中学生以下 2,125 人、高校生以上 628 人（H27 2,511 人） ・夜間照明等（管理業務委嘱） 中学校及び朝日町野球連盟、Jr マラソンクラブにて使用 ・アップルプール改修工事 14,904,000 円 全面シート貼り（塗装面の経年劣化による安全対策工事）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	28,978,000	決算額	25,890,476	差引額	3,087,439
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

○各体育施設の利用者の増加 町民体育館 H28 度から月曜日も開館したことで利用者が増えた。 町民プール 利用期間を延ばしたこと、アップルプール改修したことにより利用者が増加した。 夜間照明 野球チーム、スポーツ少年団、Jr マラソンクラブの利用が増えた。 ○常に安全な施設管理を行うように努め、町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。
--

6. 事業の方向性

・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備をしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	スポーツ振興基金運営費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	03	スポーツ振興基金運営費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の自主的なスポーツ活動を支援する。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

○基金の運用状況	
27年度末現在高	16,563 千円
28年度取崩し額	1,000 千円
28年度末現在高	15,563 千円
・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付(個人 11 件、団体 3 件) 647,000 円	
・アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援 275,000 円	
・町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 930,000 円	
・総合型地域スポーツクラブ(朝日ふれあいスポーツクラブ)運営支援 補助金 1,200,000 円	
・スポーツ少年団の育成 補助金 200,000 円	

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,077,000	決算額	2,977,076	差引額	99,924
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

○各種スポーツ団体と大会の運営に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めることができた。
○朝日ふれあいスポーツクラブの自立に向けた育成と支援について、クラブ側と調整を図ることができた。
△基金を取り崩して運用している状況から年々原資が減少しているものの、増資等を含め抜本的な対応策を見いだすことが難しい状況にある。

6. 事業の方向性

・各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。
・スポーツ振興基金について、今後の方向性や対応策などを関係者と協議していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	秋葉山利活用計画作成費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

- ・秋葉山活用研究会の開催 8/6(土) 地区民等 15 人 町職員 6 人 計 21 人参加
現地確認、整備及び活用等の提案

※経緯等

秋葉山は地域の里山として、地域住民の憩いの場、大谷小学校の自然学習等に利用されている町有地である。

昭和 62 年に秋葉山グラウンドが完成し、平成 8 から 9 年にかけて、展望広場や階段、門、四阿、案内看板等が整備された。

近年、施設の老朽化や手入れが行き届かない点があることから、地区民や大谷小学校から改善の要望の声があり、地区民の声を反映させた整備や管理の方向性を検討することとなった。

※参考実施状況

山形新聞 最上川さくら回廊 植樹式（総合産業課主管）10/29(土) ソメイヨシノ 20 本植樹

一部樹木間伐、伐採（総合産業課主管）

地区民による草刈りや間伐、倒木処理、参道整備等奉仕作業 1 回（7 月）毎年実施

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	100,000	決算額	38,818	差引額	61,182
-----	---------	-----	--------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

○検討の途中であったが、活用研究会で提案された中から間伐、伐採、さくら植樹、及び地区民による草刈り等整備奉仕作業が実施された。

△当初予定では、数回の会議等を行い、整備及び活用の方向性や優先順位を見出していく予定であったが、1 回の開催に留まり、すべてまとめるまで至らなかった。

6. 事業の方向性

- ・地区民の声を反映させた整備や管理の方向性を見出せるよう、引き続き研究会を開催する。
- ・地区民及び関係課と連携しながら、優先順位の高いところから整備や管理をすすめる。

平成 29 年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（平成 28 年度分）」

平成 28 年 8 月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375
